

肺がん

回答

県立広島病院呼吸器内科

石川暢久部長



治療が難しい肺がん  
(昨年12月30日掲載)に  
ついて読者から寄せられ  
た相談や質問に、県立広  
島病院(広島市南区)呼  
吸器内科の石川暢久部長  
に答えてもらった。

(門脇正樹)

「ニボルマブ」  
使ってほしい

担当医へ率直に相談を

Q 2014年11月に肺がん  
の手術をしました。ステー  
ジはIB期。その後の抗がん剤  
治療の副作用で食欲がなくな  
り、体重が1年間で6kg減りま

相談してもよいものでしょう  
か。  
(三次市・主婦・68歳)  
A ニボルマブは昨年末に  
国に認可され、県立広島  
病院でも年明けから点滴で使  
っています。ただ、この薬を使  
うのは、肺がんが再発した場  
合か、ステージがかなり進行  
している場合に限ります。あな  
たが術後2年たっても再発し  
ていないのであれば、おそら  
くいまの抗がん剤が効いてい  
るのだと思われれます。担当医に  
率直に気持ちを打ち明け、指  
示に従って治療を続けてくだ  
さい。

分子標的治療  
背中痛いまま

効果消えても新薬期待

Q 抗がん剤が効いたのか、  
一度はがんが小さくなった  
ので退院しましたが、ことしに  
入ってから背中があまりに痛む  
ので再検査をすると、がんが大  
きくなっていました。遺伝子検  
査の結果、「イレッサ」という

A イレッサが効くと診断  
されたということは、あ  
なたの遺伝子異常のタイプが  
「EGFR遺伝子変異」だと特  
定できたということです。治  
療法は決して間違っていない  
ので、副作用への対処法もある  
ので、担当医に相談してください。  
また、イレッサが効くタイプ  
の人には朗報があります。さら  
に新しい治療薬が年内にも発  
売される見通しになっていま  
す。肺がんに対する分子標的  
治療薬は使い続けるうちに耐  
性ができ、やがて効かなくなり  
ます。イレッサの効果が見ら  
れなくなった場合は、この新薬  
に切り替えて治療を続けるこ  
う選択肢も出てくるのでしょ  
う。新薬の開発は着実に進んで  
います。

抗がん剤治療  
仕事に影響は

薬の改良で副作用軽め

Q 近々、抗がん剤治療を始  
めることになりました。担  
当医には「仕事を続けながらで  
もできる」と言われていますが、

・57歳)  
A 従来の抗がん剤は、髪の毛が  
抜ける▽吐き気がする▽  
▽がん細胞以外の正常な細胞に  
もダメージを与える▽など副作  
用が問題になっていました。し  
かし最近の抗がん剤で現れる副  
作用は、血圧が上がる▽タンパ  
ク尿▽にきびが出る▽下痢▽肝  
障害▽など影響は比較的軽め  
です。症状を抑える薬がとも良  
くなったこともあって、現在は  
月に数回通院する「外来化学療  
法」が主流になっています。治  
療を開始する前と同様に仕事を  
継続している人もいます。

早期発見には  
どうすれば…

検診受けて  
まずは禁煙

Q 日頃からたばこを吸って  
いるので、肺がんのことは  
何となく気にしています。ただ、  
検診では見つかりにくく、自覚  
症状があったときは既に手遅れ  
だと聞きます。どうすれば早期

に発見できるのでしょうか。  
(東広島市・会社員男性・35歳)  
A 検診を受けることで、肺  
がんによる死亡率が30〜50  
%減少すると報告されていま  
す。調べる側が、胸部エックス  
線撮影したフィルムを2人の医  
師が確認する「二重読影」や、  
受診者の過去の検査でのフィル  
ムと見比べる「比較読影」を導  
入するなど精度管理を徹底すれ  
ば、肺がんは早期に発見でき  
ると言われています。  
また、肺がんが疑われる症状  
としては、せきや血たん、呼吸  
困難、胸痛などがあります。転  
遅くはありません。